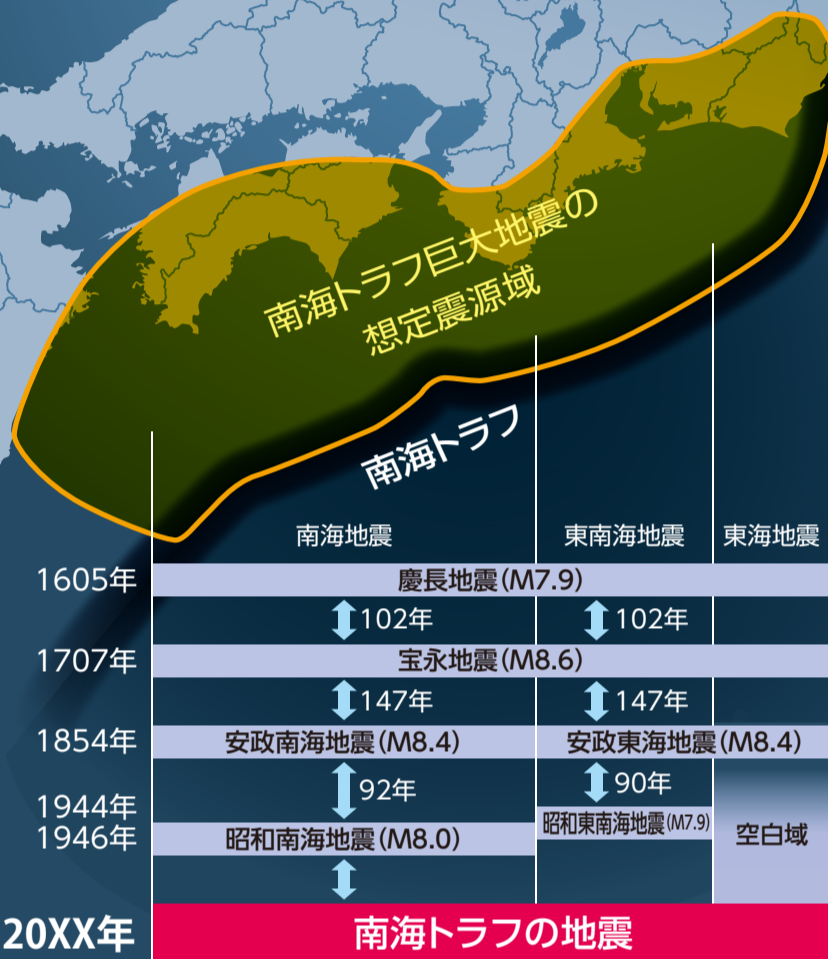


県政だより  
アワーとくしま

# OUR 徳島

令和元年 | 11月号  
No.395

## 南海トラフ地震に備えよう 次の巨大地震は 明日かもしれない。



今後30年以内の  
南海トラフ地震の  
発生確率と規模

- 発生確率 **70%~80%**
- 地震規模 **M8~M9**クラス

東海~日向灘のすべての震源域で同時に地震が発生する  
「南海トラフ巨大地震」の可能性も！

### 徳島県の被害想定

最大震度 **7**

想定される津波高  
最大 **20m超**

最大ケースの場合  
死者数 **31,300人**  
建物全壊 **116,400棟**  
避難者数 **362,600人**

参考 / 内閣府・気象庁「南海トラフ地震—その時の備え—」より



●南海トラフの東側の領域で発生した「昭和東南海地震(1944年)」から約2年後に「昭和南海地震(1946年)」が発生。牟岐町では船が陸へと打ち上げられるなど、徳島にも大きな被害をもたらしました。  
(気象庁地震津波監視課所蔵)

過去の歴史が物語る  
南海トラフ地震の驚異

津波によって打ち上げられた1隻の船の写真。牟岐町で起こった衝撃的な風景は、1946年に発生した昭和南海地震によって引き起こされました。約100年に一度発生するといわれる南海地震の中では比較的規模が小さかったといわれていますが、当時の暮らしに甚大な被害をもたらしたことが伺えます。現在、徳島における南海トラフ地震の被害想定は、最大ケースで死者約3万1千人、建物の倒壊は11万棟以上に上ります。

**南海トラフ地震は  
時間差で発生することも**

安政南海地震や昭和南海地震では、東側の大規模地震発生後に西側で大規模地震が発生しています。南海トラフ地震の発生可能性が高まった場合に気象庁から発表される「南海トラフ地震臨時情報」により、時間差で発生する大規模地震に備える対応をとることができます。突発的に発生する地震への対策が基本ですが、臨時情報が発表された場合には、その情報を有効活用し、被害軽減の対策に取り組んでください。



Youtube  
徳島県チャンネル



徳島県公式Twitter



徳島県ホームページ



広報紙Web版



●徳島県メールマガジンとくめる <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/tokumeru> ●もっと!OUR徳島+ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/2013042200169>  
●点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、視聴覚障がい者支援センターへ TEL088-631-1400 FAX088-631-1500 ●県内ケーブルテレビで県広報番組を放送しています。

徳島は宣言する  
**VS東京**